

子どもたちが考えるネットとのつきあい方 ユニセフ・子どもスマホサミット in 三重

12/8 13:00～16:00 アストプラザにて開催

中高生自身がスマホやインターネットの問題と解決策を話し合う「ユニセフ・子どもスマホサミット」を、ソーシャルメディア研究会（代表：兵庫県立大学 竹内和雄准教授）と協力し、来年2月にかけて国内各地で開催しました。

デジタル技術は、私たちが暮らす世界を大きく変えました。正しく活用されれば、貧困、人種、民族、ジェンダー、障がい、地理的な孤立などの理由で不利な立場に置かれている子どもたちも、様々な機会を得ることができます。他方、インターネットの普及によって、子どもたちは、個人情報の悪用や有害なコンテンツへのアクセス、ネットいじめといった、様々なリスクに晒されていることも事実です。

「ユニセフ・子どもスマホサミット」は、5都市での「地域サミット」（久留米市 10/20、熊本市 11/9、つくば市 11/17、津市 12/8、神戸市 1/25）の後、来年2月23日に東京都内で「全国サミット」を開催し、中高生の代表が各地の議論の成果を提言としてまとめます。この提言は、デジタル環境における子どもの権利に関する一般意見を起草している国連子どもの権利委員会等にも、日本の子どもたちの意見として提供する予定です。

ユニセフ・子どもスマホサミット in 三重「ネットの信頼性」

- 日時：2019年12月8日（日） 9:30～16:00
- 場所：アストプラザ（津市羽所町700番地）
- 主催：三重県ユニセフ協会
- 進行：竹内和雄氏（兵庫県立大学准教授）
ソーシャルメディア研究会所属の大学生

【プログラム】

9:30～12:00 中高生ワークショップ *非公開(参加中高生、関係者のみ)

事前に県内の中高生対象に行ったアンケート結果をふまえ、インターネット上の子どもの安心・安全、特に「ネットの信頼性」について議論する。

13:00～16:00 ワークショップ（おとなも交えての議論）

*報道公開（一般の方も見学できます）

午前中のワークショップ内容を中高生が発表し、問題解決に向けたおとなへの提言や子ども/若者の役割を議論する。地域の様々な立場のおとなも参加する。